

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 248

2016年

1～2月号

2016年の年頭に当たって

会長 間野吉幸

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えになったことお慶び申し上げます。会の活動がつつがなく続けられましたことは皆様のご支援ご尽力の賜物であったことを感謝致します。

昨年の会の活動を振り返って見ますと、中心活動である野鳥観察は定例探鳥会をベースに新しい探鳥地に挑戦しました。また有志を募り28人の大人数で1週間の台湾探鳥旅行を行い140種余りの野鳥を観察し、台湾の方々と交流を深めました。

当会のデータベースも着々と整備されています。手賀沼の水鳥の個体数調査では、2012年を底に水鳥の年総個体数はやや持ち直している傾向があります。鳥便りは、11月時点で91千件を超え、手賀沼の周辺の野鳥情報がぎっしり詰まっています。鳥便りによると昨年は136種観察の報告がありました。また手賀沼ビオトープ調査記録の蓄積や会員の活動記録も従来以上に電子化され、多方面に活用され始めました。

野鳥啓発活動にも注力致しました。「JBF」ではNHKやテレビ東京等のマスコミ対応、海外出張者に対するサポート、昨年を大幅に上回る参加者への対応などを挙げて取り組みました。「あびこ市民活動メッセ」への参加、数次にわたる子供を含めた探鳥指導、小学校や市民に対する野鳥講演などを通じ啓発に努めました。会員向けには「新入会員へのオリエンテーション」や「野鳥サロン」も定着して来ました。

次の一步の取り組みとして身近な野鳥をよく理解するため、「手賀沼周辺の鳥たち～その観察スポットと生態行動～」についてタスクチームが発足し現在作業が進められています。

今年は今まで積み重ねてきた諸活動をより深化させると共に、他の団体等との交流を図り、より開けた活動が出来ればと思います。

会の発展のために皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

行 事 案 内

1 月手賀沼探鳥会

期 日 1 月 10 日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前 9 時
案 内 新年最初の探鳥会となります。冬鳥の真っ盛りな季節です。お目当てのミコアイサやタゲリを探したり、葦原に戻ってきているオオジュリンなどを観察しましょう。ペニマシコがいるとよいですね。

解 散 正午頃
担 当 松田

備をしている野草の口ゼットを見ながら、冬の手賀沼ビオトープ周辺の探鳥をしてみましょう。昨年 1 月は 20 種、2 月は 24 種の野鳥を観察しました。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前 11 時 30 分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

2 月手賀沼探鳥会

期 日 2 月 14 日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前 9 時
案 内 カモ類やカイツブリなどの冬鳥で、手賀沼が最も賑わう季節です。今年のカムリカイツブリの当たり年のようなようです。ミコアイサやタゲリ、猛禽類などこの時期ならではの鳥達との出会いに期待しましょう。

解 散 正午
担 当 松本

1 月、2 月手賀沼定点カウント

期 日 1 月 9 日(土) 雨天延期
2 月 11 日(木・祝) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前 9 時
解 散 正午
担 当 田中功、金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

1 月、2 月ビオトープ調査

期 日 1 月 7 日(木) 雨天延期
2 月 4 日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ビオトープ 午前 9 時 30 分
案 内 1-2 月は沼、池で多種のカモ類、カイツブリ、パン、カモメ類が、草原でアオジ、オオジュリン、ホオジロ、カシラダカ等が、田ではツグミ、タヒバリ等が観察できます。シメ、アリスイが見られることもあります。上空をタカ類が飛びます。木の花、草の花は少なくなります。春の準

筑波山探鳥会

期 日 1 月 24 日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口ふれあい広場前 午前 7 時 30 分
案 内 例年 5 月に開催している筑波山探鳥会を初めて 1 月に開催します。筑波山は昔から西の富士、東の筑波と称され、百名山・日本百景のひとつです。今回はバスで筑波山神社まで行き、ケーブルカーに乗り換え山頂近くの御幸ヶ原で冬鳥を探鳥します。ケーブルカーで下山後、筑波山梅林でも探鳥し、時間が許せば帰りに乙戸沼で水鳥を探鳥します。期待される

鳥はハギマシコ、カヤクグリ、ミヤマホオジロ、ルリビタキ等々です。

交通 マイクロバス
 定員 20名(先着順)
 費用 5,500円(バス代、ケーブルカー代含む)
 持物 観察用具、防寒具、弁当、念のため雨具
 申込 野口隆也まで
 Tel: 04-7163-7898

井頭公園探鳥会

期日 2月6日(土) 雨天中止
 集合 我孫子駅北口 午前8時
 交通 中型バス
 (富士交通 047-459-9191)
 案内 恒例の探鳥会です。今年も昨年に続き土曜日に行います。公園内の護岸工事などの整備も終わって、水が増えているようです。例年、山野の鳥、水鳥合わせて40種以上観察されています。バードソンも楽しめます。ミヤマホオジロ、トラツグミ、ベニマシコ、ルリビタキ、マガモ、ミコアイサ、ヨシガモ...期待しましょう。

定員 28名
 費用 3,500円
 持物 観察用具、防寒具、弁当(途中購入可)(念のため雨具)
 申込 松本勝英まで
 申込み期限 1月25日
 Tel: 04-7187-1704
 担当 松本、小林(寿)

涸沼・大洗海岸探鳥会

期日 2月13日(土) 雨天中止
 集合 我孫子駅北口 午前8時
 案内 今年は時期をずらし、大洗海岸も含めて実施します。
 涸沼ではホオジロガモやミコアイサなど多くのカモ類とハイイロチュウヒ、ミサゴなどの猛禽類に加え、ここ数年姿を見せているオオワシ成鳥を狙います。大洗では海岸線を走りながらシノリガモやウミスズメなど多くの海鳥やカモメ類を探します。この探鳥会は、鳥の多さと思わぬ出会いに期待が持てる、楽しみな探鳥コースです。是非一緒にどうぞ!

交通 自家用車分乗。
 同乗者は一人2,000円を運転者へお渡し下さい。
 尚、自家用車提供可能な方は、申し込みの際その旨をご連絡下さい。

持物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)、防寒具
 申込 金子雅幸まで
 Tel: 04-7133-6944
 担当 船津、金子(雅)

第16回「野鳥サロン」のご案内

第16回野鳥サロンは「珍しい・面白い野鳥の生態」、「野鳥すごろく」を企画しています。

今まで見かけた野鳥の珍しい生態や面白い生態について語り合い、野鳥すごろくではゲームの色彩を強くし誰もが気軽に楽しめるように担当幹事が頭をひねっています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 1月26日(火) 9:30~11:30
 場所 我孫子北近隣センター並木本館
 多目的ホール

テーマ 「珍しい・面白い野鳥の生態」 「野鳥すごろく」
会費 一人 300 円 (茶菓子代)
担当 石井俊子 野口隆也 小澤淳宏
締切日 1 月 22 日(金)
申込先 小澤淳宏まで
Tel : 090-4756-4607

1 月役員会案内

日時 1 月 10 日(日) 13:00~16:00
(開始時間に注意！)
場所 水の館 3 階研修室
議題 平成 27 年度の反省と平成 28 年度に向けて
会報 249 号掲載予定記事について
第 3 四半期会計報告について
第 17 回「野鳥サロン」について
報告事項
・ 対外対応状況 他
その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください)

お 知 ら せ

講 演 会

バードウォッチング入門
~入門済みの人はちょっと復習~
日時 2 月 20 日(土) 開場 13:30
講演 14:00~16:00 (質疑を含む)
場所 手賀沼親水広場水の館 3 階研修室
講師 平岡 考さん (公財)山階鳥類研究所自然誌研究室
内容 (講師からの紹介)
野鳥は色鮮やかで声も美しく、親しみやすい反面、昆虫や植物のように手にとって図鑑と見比べられないなど、入門のハードルが高い側面もあります。当日はまったくの初心者にもわかりやすく、経験者にも興味を持っていただけるようなバードウォッチング紹介ができればよいと思っています。
今回の講演は、2015 年 6 月に我孫子市鳥の博物館で行ったテーマトークの内容を大幅に拡充して再演するものです。

申込み 不要
参加費 無料
主催 我孫子野鳥を守る会、我孫子市鳥の博物館友の会
後援 我孫子市、我孫子市教育委員会

亀成川を愛する会探鳥指導

亀成川流域里山散策シリーズ第 13 回「冬鳥を探そう」への協力です。
当会は、亀成川を愛する会の探鳥会に協力します。下記要領で実施致します。

日時 1 月 30 日(土) 9:30~12:00
集合場所 牧の原公園駐車場
(スタッフ集合は 9:00)
コース 牧の原公園駐車場~別所谷津公園池北側~古新田川調節池~別所緑地デッキの折り返し

市民手賀沼船上探鳥会

(今が旬！手賀沼の水鳥ウォッチング)

手賀沼の水鳥は数も種類もこの時期が一番豊富です。水鳥のオスは最も美しくなっています。今回も去年と同じ様に、船の上から水鳥達をウォッチングします。暖かい身支度でおいでください。我孫子市環境レンジャーと共催です。

日時 1月31日(日) 午前10時～正午頃まで 荒天中止
募集 32名(船のため参加者数厳守)
集合 手賀沼公園小池ボート乗り場前 午前10時
申込み 我孫子市手賀沼課
Tel: 04-7185-1111(内線568)
持ち物 双眼鏡、筆記用具
服装 暖かい服装

行事報告

10月手賀沼探鳥会

日時 2015.10.11 9:00

雨 18

少し気の早い冬鳥を期待しましたが、あいにくの雨で中止となりました。

この雨の中、少しでも小降りになれば探鳥しようとして集合された方が3名おられました。

集合者 小玉文夫、田丸善昭、野口隆也(担当)小澤淳宏

10月手賀沼定点カウント

調査日時 2015.10.10 9:00～12:30

薄曇り 微風 19

カモの一陣が飛来し、コガモ、オナガガモ、ホシハジロが観察された。

カモの密度が濃いことから、今回より我孫子高校野球場前も観測地点に追加し、今後も継続実施する。

調査種	上沼	下沼	合計
ゴハクチョウ	14	16	30
カヨシガモ	0	3	3
カガモ	22	19	41
コガモ	11	25	36
ホシハジロ	0	9	9

カイツブリ	5	9	14
カムリカイツブリ	1	0	1
カワ	51	88	139
コイサギ	1	5	6
アサギ	14	16	30
ダイサギ	2	7	9
チュウサギ	2	13	15
コサギ	1	5	6
バン	0	1	1
オバン	3	11	14
ユリカモ	1	1	2
合計	128	228	356

<調査者> 田中功、桑森亮、船津登、金子雅幸 計4名

10月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2015.10.1 9:30～11:20

曇り時々晴れ 無風 24～27

沼にはカワウの群れ、岸の葦原にスズメの群れ、調査範囲外の上空に50～100羽のカモの群れ(渡り)、40羽のカワウの雁行、ユリカモメが飛ぶ。草に覆われたピオトープの池でアオサギ、コサギが餌探し、カルガモ、コガモが泳ぎ、水面上をカワセミが鳴きながら飛び、木の頂でモズが高鳴き、物まね声で鳴く。上空をヒヨドリ(渡り)の群れが飛ぶ。二

番穂が出た田ではチュウサギが餌探し、ツバメが 1 羽飛ぶ。調査範囲外の斜面林の下の農家の庭にシオン、コスモス、カンナが咲き綺麗。その上を渡り途中のカケスの群れが飛ぶ。

調査範囲内で観察した野鳥 17 種 89 羽、他に木の花実 5 種、野草の花実 18 種、蛙 2 種、蜥蜴 1 種、蝉 1 種、蝶 10 種、蛾 1 種、蜻蛉 4 種、コオロギ 1 種、バッタ 4 種、ハムシ 1 種、カメムシ 1 種、蜘蛛 2 種、カタツムリ 1 種を観察しました。* 10.3 昆虫類を別途調査：池田日出男

< 認めた鳥 > カルガモ、コガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ユリカモメ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、スズメ 計 17 種 89 羽
< 調査者 > 鈴木静治、船津登、蒲田知子

11月手賀沼探鳥会

日時 2015.11.8 9:00 ~
雨天のため中止

朝 8 時頃から雨が降りだしました。我孫子市役所前には、下記の 14 名が集まりましたが、雨が本降りになってきたため、やむなく中止としました。

松村さんが初参加でしたので、間野さん、野口(隆)さんなどと、個人的にヒドリ橋へ案内し、探鳥をしました。96 号送電用鉄塔にハヤブサ、沼の中央の杭にミサゴが確認され、その他、カワセミ、アオサギ、ダイサギなどが見られました。雨が強くなったため、ヒドリ橋で解散しました。

< 集合者 > 田丸喜昭、西城猛、小玉文夫、松本勝英、松本葉子、川村美恵子、大隅政孝、相良直己、野口隆也、松村洋子、土器屋一枝、間野吉幸、桑森亮 (担当) 船津登

11月手賀沼定点カウント

調査日時 2015.11.7 9:00 ~ 12:45
晴れのち曇り 東風やや強 21
晩秋の手賀沼は、カモ、カイツブリ、クイ

ナ類が一気に増え、猛禽類も賑やかになった。

調査種	上沼	下沼	合計
コバケツヨ	11	13	24
カヨシガモ	13	0	13
ヒトリガモ	9	4	13
マガモ	0	9	9
カルガモ	64	9	73
コガモ	228	9	237
スズガモ	0	10	10
カイツブリ	11	7	18
カムリカイツブリ	31	47	78
バシロカイツブリ	0	1	1
カワウ	23	62	85
アオサギ	2	27	29
ダイサギ	5	6	11
コサギ	2	14	16
バン	1	0	1
オバン	39	18	57
セグロカモ	1	0	1
合計	440	236	676

< 調査者 > 田中功、桑森亮、船津登、金子雅幸 計 4 名

11月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2015.11.5 9:30 ~ 11:30
快晴、無風、19 ~ 23

快晴、無風で暖かい秋の日、斜面林は緑の中黄葉目立つが、紅葉は未だ。観察範囲外であるが、カラスが飛び交い、ヒヨドリの群れの鳴き声が聞こえる。トビが上空を飛ぶ。沼には水鳥があまり見えない。沼岸近くをカワウ、コサギ、ユリカモメが飛び、カムリカイツブリが泳ぐ。ピオトープの取水は止まり、池ではカルガモ、コガモ、バンが泳ぎ、アオサギが餌探し、葦、葛の中の柳の茂みでウグイスが動き、高いメタセコイアの木の頂にアリスイがとまる。桜の木にキジバト、ハシボソガラスが止まる。木の頂でモズが鳴く。空をカワラヒワ、スズメ、ホオジロが飛ぶ。田は二番穂の田、田起こし田が半々で、ハクセキレイが鳴きながら飛び、ヒバリが上空で鳴く。気持のよい日のためやや通行人多く、蝶、

蜻蛉も飛ぶ。調査範囲内で観察した野鳥 20 種 76 羽。他に木の花 1 種、実 6 種、野草の花・花穂 10 種、蛙 1 種、蝶 8 種、蛾 1 種、蜻蛉 2 種、バッタ 4 種、蠅 2 種も観察出来ました。

< 認めた鳥 > コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、コサギ、バン、ユリカモメ、アリスイ、モズ、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計 20 種 76 羽

< 調査者 > 鈴木静治、池田日出男、船津登、金子雅幸

伊豆沼・蕪栗沼探鳥会

11 月 21 日、22 日

感嘆の声だけが沼に響く

金子雅幸

寒さを考えるとつい出不精になるが、未だ見ぬ物への憧れから追加で参加させて頂いた。今回は新幹線 + レンタカー利用で、午後 1 時には蕪栗沼の探鳥を開始した。

今年はここだけで 5 万羽のマガンが飛来し、田のあちこちに採餌する群れが見られる。その中で 10 羽のカリガネを見つけようとスコープを覗くが、直に諦めた。図鑑にある、マガンより小さく顔の前面にある白色部分が大きく黄色のアイリングも有ると言う特徴が、判別の役に立たぬと知れたから。マガンも個体差で大小はあるし、白色部分もかなり大きな個体が沢山いる。後はアイリングで判定しかないが、探し続ける根気を持たぬ私は全体を見て楽しむ事とした。埒入りまでの間周辺を歩き回り、オオタカやチュウヒ、シメ、ベニマシコ、ヒシクイなどを楽しみ、いよいよその時を迎えた。薄暗くなりかけた 4 時頃から線状に並んだ幾つもの群れが、湧いて出て来る様に夕焼けの中を次々と沼へ戻って来る。数万のマガン達は直ぐには降りず舞いながら様子を見ているのか、かなり暗くなった 4 時半過ぎに黒い塊となって鳴きながら一斉に落雁しだした。周りからはすごい、ウァーと言った感嘆の声だけが聞かれる。あっと言う間に沼は沢山の黒いシルエット

で埋め尽くされた。

翌朝は 5 時過ぎに 13 万羽が休む伊豆沼でスタンバイ。沼辺に立ち夜明けを待つが、暖かい今年でも 1 時間も立っていると足元からジンジン冷えて来る。ようやく薄明るくなった 6 時前、遠くのマガン達から飛び立ち始めた。双眼鏡で辛うじてその様子が見られるが、まだ写真に撮れる明るさではない。我々の観察場所近くの群れは、他の飛び立ちにも反応せず動かない。何度か大きな群れがざわめきと共に飛び立ち、その度に感激感動を覚えていたがそろそろ宿へ戻ろうかとした 6 時半過ぎ、丁度顔を見せた太陽と共についに目の前の群れが一斉に飛び立った。頭上を飛び去る何千の鳥達にウァーの声は更に大きくなり、全員が我を忘れて声と姿に魅せられた瞬間だった。(この情景を文章で伝えられる術を持たず、ご自分で体感して頂く以外には無い。)

朝食後の伊豆沼周辺探鳥で、桑森さんが遠くにいるハクガンを見つけ早速接近。何万羽のマガンの中にたった 2 羽のハクガンは、まだ幼鳥であったが飛翔する姿まで見られ感激していたら、今度は村井さんがシジウカラガンの小群を発見し、これまた全員が確認出来ると言う幸運。ついでにカリガネもと欲張ったが、流石にこれはアウト。

湖畔で美味しい昼食の後、列車時間まで南岸を探鳥しようと車を走らせていると、樹上に大きな猛禽の姿。トビより大きめで尾に黒斑があるが確認出来ぬ内に飛び去られ、あれは何だったかと推論の内に最終の内沼に到着。するとここでも遙か遠くに更に大きな猛禽の姿。大きさやシルエット的にはオジロワシだが、半逆光でどうしても確認出来ぬ内にタイムアウト。

今回の企画は時間と機動性に優れ、伊豆沼・蕪栗沼を存分に堪能出来る素晴らしい物だった。穏やかな好天にも恵まれ、全員が感動で締め括れた大満足の 2 日間だった。幹事並びにドライバーを務められた桑森さん、小澤さん、野口さん、大変お疲れ様でした。有難うございました。

【幹事報告】

8 時 54 分上野駅発の東北新幹線やまびこ 43 号に乗り、目的地のくりこま高原駅には予定通り 11 時 13 分に到着。現地は晴れで、気

温もさほど寒くない。12名の参加者は3台のレンタカーに分乗し、蕪栗沼へ向かった。向かう途中の田んぼには、多くのマガン、ハクチョウが採餌しているので、早くも車中は盛り上がってきた。

レストラン「多来福こん」で昼食後、蕪栗沼の北側駐車場に13時頃到着。左側に野谷地区の田んぼ、右側に白鳥地区の葦原と開水面を見ながら堤防の上を歩き探鳥を始めた。多くのマガンの中からわずかに飛来してきているカリガネを見つけるのは難しいが、諦めず探し続ける人もいる。ハイロチュウヒを狙っている地元のバーダーからオジロワシが蕪栗沼に飛来しているとの情報ももらう。運が良ければ出会えるかもと期待が膨らむ。

開水面にヘラサギが見える。罫入りのポイントは2か所あるため、最初のポイントでハイチュウを待ちながら罫入りを見るグループと蕪栗沼を臨むポイントで罫入りを見るグループに分かれました。蕪栗沼ではオオヒシクイが見られ、あたりがうす暗くなり始めると、どこから湧いてきたのかと思うほど多くのマガンが沼・開水面めがけて戻ってくる。夕日を背景にした罫入り・落雁は言葉で表現するのが難しいほど感動した。ふと周りを見ると海外からやってきた20名ほどのツアー客が罫入りを静かに見ていました。ラムサールトライアングル(伊豆沼、蕪栗沼、化女沼)は国際的にも認知されるようになってきたようだ。17時過ぎに蕪栗沼を離れ、宿舎「伊豆沼ウェットランド交流館」に到着。夕食後21時半ごろまで幹事部屋で懇談後、明日に備え早めに就寝した。

翌朝5時10分マガンの夜明けの飛び立ちを見るため、伊豆沼西端堤防(獅子が鼻)に向かい、運よく県道横の駐車場に車を入れることができた。堤防の上にはすでに多くの観察者が飛び立ちを待っていた。風はないが冷え込みがきつく、足先・指先が悴んできた。

6時少し前から飛び立ちが始まり1時間以上それが続く。大きな羽音と鳴き声とともに頭上を飛ぶマガンの群れに圧倒される。女性陣から「すごい!」「わあー!」という声が何度も聞こえる。ヒトは感動すると表現する言葉は簡潔になるようです。朝食後8時30分に宿舎を出て伊豆沼北岸遊歩道を探鳥。

遊歩道、木道が整備されていて沼辺の疎林には多くのツグミのほかベニマシコ、カシラダカ、アカゲラ、カケス、シメ、ヤマガラなどのほかトビ、ノスリが見られた。途中「宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(野鳥館)」を見学。その後、伊豆沼北岸の田んぼ(通称第2工区)を車で巡り、マガン、ハクチョウしか見られないと思っていたところ、執念で桑森さん、金子さんがハクガン2羽を遠くの田んぼに見つけた。農道に車に入り、近くで観察することができたうえ、シジュウカラガンが群れて採餌しているのも見ることができ大きな収穫となった。その後、伊豆沼東端の野鳥観察舎に移動、ここでは沼のオナガガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カワアイサなどのカモ類を多く見ることができた。12時にレストラン「伊豆沼農産くんぺる」で昼食を摂り、併設の農産物直売所でそれぞれショッピング。帰路立ち寄った内沼で大きな猛禽が遠くの木の上に止まっているのを見つけ、オジロワシではないかと期待したが、光線の具合が悪く残念ながら同定をあきらめた。

14時58分の東北新幹線やまびこ50号乗車、17時18分上野駅に到着した。

<認めた鳥>キジ、オオヒシクイ、マガン、ハクガン、シジュウカラガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、ヘラサギ、オオバン、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ
計50種

<参加者>青木典子、金子幸子、金子雅幸、相良直己、津村勝吉、中西榮子、中根忠、野口隆也、野口洋子、村井みとい(幹事)桑森亮、小澤淳宏 計12名

手賀沼親子ふれあい探鳥会

11月29日

日時 11月29日(日) 9:30~12:30
晴
行程 手賀の丘公園~手賀沼(下沼)~手賀の丘公園
内容

手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、一般市民を対象にして当会会員が野山と水辺の鳥を案内し、家族に探鳥の楽しみを伝える親子ふれあい探鳥会を実施しました。当日は好天に恵まれた絶好の探鳥会で、野鳥も47種が観察されました。

今回は昨年と同コースを選択、じゃぶじゃぶ池ではヤマガラ、カワラヒワ等を観察し、キャンプ場付近ではノスリの大旋回を間近に堪能しました。

手賀沼に向かう途中の田圃ではタヒバリ、ホオジロ、モズを観察。手賀沼ではカンムリカイツブリ、キンクロハジロ、ミミカイツブリ、ミコアイサ等の水鳥が観察できました。特にオシドリが近くに飛んで来て、その美しさに感動していました。

鳥合わせの後、野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントがあり、子供たちは大喜びでした。

今年は昨年の1.5倍の市民の皆さんが参加して大盛況でした。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オシドリ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、セッカ、メジロ、ルリビタキ、シロハラ、ツグミ、オオジュリン、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、

カシラダカ 計47種 番外 カワラバト
<参加者> 43名、うち一般33名。

会員：渡辺公子、類地佑子、間野吉幸、北崎正典、古出洋子、桑森亮、船津登、小澤淳宏、松本勝英、野口隆也

第15回ジャパンバードフェスティバル (JBF2015)

<総括報告>

第15回ジャパンバードフェスティバル(JBF2015)が10月30日(土)と11月1日(日)の両日にわたり、“人と鳥との共存をめざして”をテーマに開催されました。当会の出展は、昨年に引き続き、鳥博広場のテント(ブース ~) 噴水前デッキ(湖畔BW) 手賀沼漁協棧橋入口テント(船上BW)の3か所で各種活動を展開しました。

初日は1時間程小雨がぱらつきましたが、概ね好天に恵まれ、例年より出展ブースと人通りも多く、会場全体が賑わいました。特に、今回は開会2日前にNHK「おはよう日本」で手賀沼でのバードウォッチングと鳥凧の風景が生放送され、JBFが紹介されたことも功を奏したようです。

当会の出展状況は、ブースでは「身近な鳥たち、珍しい鳥たち」をテーマに、プロジェクトによる当会の活動と探鳥会等での写真を紹介する自動スライドショー映写、ブースでは親子による「塗り絵とパタパタ工作」の体験、ブースでは「庭に鳥を呼ぶ」をテーマに鳥の好む餌や身近な素材による手作りフィーダー等の紹介を行いました。

湖畔BWでは、スコープを10台設置し、来場者に遠くの鳥が間近に見られるバードウォッチングの驚きと楽しさを味わってもらいました。船上BWでは、遊覧船で手賀沼を一周し、船上から水鳥の飛び立ちや杭上の鳥を間近に見て楽しんでもらいました。

何れの出展ブース、テントともに大盛況で、昨年以上の来場者で賑わい、多くの方々に当会の活動やバードウォッチングの楽しさを知ってもらい、人と野鳥の共存について関心を深めてもらいました。その結果の一つとして、この機会に7名の方が新規入会されました。

また、今回は国際交流がテーマの一つで、海外 7 か国からの出展があり、当会としては、長年の交流がある台湾、昨年から交流があり今回新たに出品するモンゴルの 2 か国をサポートし、何れのブースも盛況で、特にモンゴルは初出展でオオバン賞に輝きました。

2 日間を通して、当会への来場者総数は 3,006 名(昨年は 2,093 名)で、会員参加者は前日準備も含め 105 名の皆様のご協力をいただきました。担当幹事の皆さん、支援スタッフ会員の皆さんの総力が結集され、大きな成果が得られ、無事成功裏に終えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

なお、各ブースの詳細については、各グループリーダーから別途報告されます。

(事務局 桑森)

< パネル展示 & スライドショー >

今年度も、鳥博広場の当会ブースでは、前年同様、当会会員撮影の鳥写真のパネル展示とスライドショーを行いました。今年度のテーマは「身近な鳥、珍しい鳥、美しい鳥」です。

パネル展示では、当会紹介パネルに加え、10 名の会員の皆様の A3 サイズで印刷した 24 枚の写真を各 8 枚ずつ下記の三部に分け掲示しました。

手賀沼周辺の鳥
遠出探鳥会の鳥
台湾探鳥旅行の鳥

会員撮影の珠玉の写真の数々に、多くの来場者が足を止め見入っていました。

スライドショーでは、17 名の会員の写真 157 枚を用いて、手賀沼周辺の鳥を 28 種、遠出探鳥会で出会った鳥を 23 種、台湾探鳥旅行で出会った鳥 19 種、合わせて 70 種の鳥の傑作写真を探鳥地と共に紹介しました。今年度、初めて、会員の青木典子さんにナレーションを担当いただき、解説が音声で流れる、これまでよりさらに親しみやすいスライドショーとなりました。

(担当 相良)

< パタパタ工作 & 野鳥塗り絵 >

本年は「パタパタ工作」6 種、「野鳥塗り絵」は松本さんのご尽力により新作 5 種(ア

カゲラ、エナガ、キレンジャク、ツグミ、モズ)を加え 14 種を用意した。

好天に恵まれ、来場者が多く、配布数はパタパタ工作 273(前年比 136%)塗り絵は新作が評判となり 156(前年比 240%)と大幅に増加した。

今回は、机の配置を工夫する、担当者を増やなどをして来場者増に対応できるようにしたい。

お手伝いくださった方々、有難うございました。(担当 野口紀子)

< 庭に鳥を呼ぶ >

今年は庭に来る可愛い小鳥、綺麗な小鳥、野の小鳥で人気のベニマシコ等の小鳥に種類を絞り、これらの鳥の好む木の実、花、人工餌、果物を、小鳥のペーパークラフトの模型を木、フィーダーに付け展示しました。庭の木はいけばな方式で、蔓性の草の実は吊り下げ方式で、人工餌、果物を入れた紙パックのフィーダーを軒先に「庭に鳥を呼ぶ」のタイトルとともに吊下げ展示しました。

その結果は可愛く手軽に作れる紙パック、針金方式の殻付き落花生が目を引き、好評で写真を撮る人も多くいました。また展示したバードケーキも好評で、レシピを知りたいという人が多く、作り方のコピーを渡しました。来年は綺麗で人目を引き珍しい木の実と可愛いフィーダーを多く作り展示したいと思います。(担当 鈴木)

< 船上バードウォッチング >

初日(10/31)は、一時小雨の寒い日でしたが、相変わらず大人気でした。

第一便に、テレビ東京の乗船取材があり、その対応に少し慌てました。

翌日(11/1)は打って変わっての快晴でキャンセル待ち続々と終了しました。

両日(計 6 便)とも、船長の「遠路客は少しでも多く」とのご厚情を得、定員一杯の 40 席が満席の大盛況でした。

認めた鳥も、カモ類は今一でしたが、猛禽類(ミサゴ、ハヤブサ他)に恵まれました。乗船前の不安な顔と、終えて下船時の皆様の幸せ一杯の顔の変わり様に「大成功」を確信しました。

(担当 松本)

<湖畔バードウォッチング>

10月31日(土)の天気は、曇りで一時雨がぱらぱらと降りました。来場者は、870人で盛況でした。認められた鳥は、手賀沼大橋の左端に見える送電用鉄塔にハヤブサ、上沼の杭にミサゴ、葦原の上を飛ぶチュウヒ、上空を飛ぶトビと猛禽類4種を含め27種+番外1種でした。

来場者の多くの方は、フィールドスコープで鳥が、鮮明に見えることに感嘆の声をあげていました。

11月1日(日)の天気は、晴れで、朝から多くの来場者があり、1日で965人を数えました。認められた鳥は、ノスリ、ミサゴの猛禽類2種とミコアイサが湖面上空を横切る姿、ゴイサギが上空を舞う姿など28種+番外1種でした。

カッパ像の近くをカヌーが通り、カワウなどの鳥が飛び去りその後戻って来なかったことが、残念でした。

2日間合計で、来場者は1,865人、認められた鳥は34種+番外1種でした。会員の案内者は、延べで24名でした。

第15回「野鳥サロン」の実施報告

第15回野鳥サロンが11月19日(木)、並木本館ホールで行われました。

今回は「手賀沼付近の身近な野鳥の生態」がメインテーマです。間野さんが会員の写真をベースに編集したパワーポイントで野鳥の生態を解説、取り上げられた野鳥は時間の関係でキジ、ホオジロ、オオバン、メジロ、シジュウカラ、スズメ、カイツブリの7種でしたが、環境や食べ物、鳴き声、繁殖、子育て、特異な動き等々詳細な説明がありました。中には、キジの砂浴びは何のため?(寄生虫を取り除くため)、ホオジロは嘴が短く下に曲がっているのは?(好きなイネ科の種子を取りやすくするため)、オオバンの足指が木の葉状なのは?(水かき用)、メジロと

スズメで桜の花の蜜の吸い方に違いは?(メジロは花の表、スズメは花の裏から)等、興味深い説明もありました。参加者からも自分の観察体験等が披露され、会場は盛り上がりました。

その他、桑森さんからはご自身が中心になってまとめている「野鳥の生態」の中からホオジロについての報告、またJBFで使われたビデオ「当会の出会った鳥たち」(相良さんの編集、青木さんのナレーション付)も上映されました。

<参加者>古出洋子、田中功、野口隆也、畠中暁美、関口小夜子、金子雅幸、千葉洋、松本庸夫、池田日出男、船津登、桑森亮、土器屋一枝、野倉元雄、木村稔、川上千里、鈴木裕爾、松田幸保、小林美智子、古高利男、類地佑子(担当)青木典子、石渡成紀、間野吉幸 計23名

統一クリーンデイ・ふれあい清掃

「一人ひとりの力でもっときれいな手賀沼に」をスローガンとした手賀沼統一クリーンデイ・ふれあい清掃が12月6日(日)に実施され、当会からも9名の有志が参加しました。個人及び団体で総勢530人が参加されました。実行委員長となった当会の間野会長の挨拶に続き星野我孫子市長が挨拶し、その後清掃が始まりました。

今年はガードレール下の草刈りができなかったため、そのゴミ拾いはできず、遊歩道沿いの清掃のみとなりました。毎年実施している効果なのか思いのほかゴミは少なく、1時間弱で作業を終え、素敵なハンドタオルを記念品として頂き、恒例の“じゃんけんゲーム”で勝ち残った人に景品が渡され、最後に我孫子市職員組合提供の味噌汁を頂き散会しました。

<参加者>野口隆也、間野吉幸、野倉元雄、松田幸保、佐々木隆、染谷迪夫、坂巻宗男、桑森亮(担当)小澤淳宏

11 月役員会報告

日 時 平成 27 年 11 月 8 日(日) 13:00~16:00

場 所 水の館 3 階研修室

議 事

1. 2016 年度上期行事計画

2016 年度上期行事について検討し、次の通り決定しました。

月	実施日(曜日)	行事内容	担当(下線が主担当)
4	02(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	07(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	10(日)	手賀沼探鳥会 定期総会、事務局会議	探鳥会：小澤 事務局
	24(日)	葛西臨海公園探鳥会	船津、千葉
5	05(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	07(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	08(日)	Enjoy 手賀沼探鳥会 役員会	野口(隆)、桑森 事務局
	15(日)	稲敷シギチ探鳥会	金子(雅)、松本
	29(日)~30(月)	松之山探鳥会	金子(雅)、桑森
		第 18 回野鳥サロン	古出、金子(幸)、佐々木
6	02(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	04(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	12(日)	手賀沼探鳥会 事務局会議	探鳥会：船津 事務局
	15(水)~22(水)	モンゴル探鳥会(有志)	野口(隆)
7	02(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	03(日)~04(月)	乗鞍・上高地探鳥会	金子(雅)、小澤
	07(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	10(日)	手賀沼探鳥会 役員会	探鳥会：桑森 事務局
	24(日)	Am 映写会 Pm 懇親会(昼食含む)	映写会：相良、石渡 懇親会：古出、野口(紀)、石井
		第 19 回野鳥サロン	金子(雅)、鈴木、田中
8	04(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	06(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	014(日)	手賀沼探鳥会 事務局会議	探鳥会：松田 事務局
	28(日)	三番瀬探鳥会	野口(隆)、相良
9	01(木)	ビオトープ調査	鈴木他
	03(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	11(日)	手賀沼探鳥会 役員会	探鳥会：松本 事務局
	22(木・祝)	稲敷探鳥会	松本、鈴木
	24(土)~25(日)	第 3 回あびこ市民活動メッセ	
		第 20 回野鳥サロン	染谷、千葉、野倉

2. ほーほーどり 248 号掲載予定記事
会報 248 号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。
3. 芋煮会と谷津田探鳥会
芋煮会と谷津田探鳥会の担当等について、資料に基づき検討し、決定しました。
4. 第 2 四半期会計報告
事務局（会計担当の代行）が資料に基づき報告し、異議なく了承されました。
5. 第 16 回野鳥サロンについて
1 月 26 日(火)又は 28 日(木)実施の方向で検討しており、詳細が決定次第周知されます。
（*本件は、1/26 実施になりました。行事予定案内を参照ください。: 編集担当）
6. 講座の提案について
松田幹事から、昨年 6 月に開催された鳥の博物館の「テーマトーク」での山階鳥類研究所平岡考氏による講演の内容を拡充して、鳥の博物館友の会と当会の共催により講座を開催する旨の提案がなされ、検討の結果、対象を一般に公開した講演会として 2 月 20 日(土)の午後に開催する方向で講師の平岡氏と調整することを決定しました。
（*本件も後日、講演会の詳細が決定し、お知らせ「講演会」に掲載しています。）
7. 報告事項
以下の事項が報告されました。
あびこ市民活動メッセの出展実施状況
具体的内容は会報 247 号で既に報告されています。
JBF2015 出展等の実施状況
具体的内容は別途 JBF 報告に記載の通りです。
対外対応状況等
その他
「大津川のナガエツルノケイトウ実態調査」について報告がありました。

以上

鳥 だ よ り

9 月下旬から 11 月中旬にかけては、季節の指標となる多くの冬鳥が観察されています。ツグミは 10/26 日が初認でほぼ例年通り（10 月下旬～11 月上旬）、ジョウビタキの初認も 10/23 日とほぼ例年通り（10 月中旬～下旬）でした。オオジュリンは 10/18 日でここ 5 年では一番早い初認日でした（例年は 10 月末～11 月初旬）。カモ類では、ヒドリガモは過去 5 年で一番遅い 11/7 日（2010 年と同日：例年 9 月末～10 月初旬）で、ハシビロガモは、逆に一番早い 10/1 日（例年は 11 月中～12 月初）、スズガモは、ちょっと例年より早く 10/27 日（例年：11 月初～中旬）
日本で一番小さな鳥と言われる、キクイタダキが 11 月 16 日に観察されています。過去 5 年では 2012 年 11 月から 2013 年 1 月の間に 3 件の観察が報告されてるだけです。

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 9.15 [高野山] ヤマガラ(1) 地鳴き 平岡考 | 9.22 [布佐] ヒ(2) 上空高く鳴きながら |
| 9.21 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登 | 旋回する 鈴木静治 |
| 9.22 [手賀沼遊歩道(曙橋)] クハラヅサ(1) 杭上で休む 桑森亮 | 9.23 [光ヶ丘 廣池学園] ヤマガラ(1) 9:24、鳴きながら移動 飯泉仁 |
| | 9.23 [光ヶ丘 廣池学園] サバ(1) 9:43、上 |

- 空を旋回 飯泉仁
- 9.23 [光ヶ丘 廣池学園] ツト`リ(1) 9:57、
 ヲイソノの枝に飛来 飯泉仁
- 9.27 [光ヶ丘 廣池学園] 牝`舛(1) 9:28、
 ヲイソノの木を鳴きながら移動 飯泉仁
- 9.27 [光ヶ丘 廣池学園] イヅビ`舛(4) 9:28、
 ヲイソノの木を鳴きながら移動 飯泉仁
- 9.27 [光ヶ丘 廣池学園] コサヒ`舛(1) 9:28、
 ヲイソノの木を鳴きながら移動 飯泉仁
- 9.27 [光ヶ丘 廣池学園] ヤマガ`ラ(1) 10:01、
 ヲイソノの木を鳴きながら移動 飯泉仁
- 9.27 [光ヶ丘 廣池学園] サヒ`舛(1) 11:02、
 本部棟避雷針の天辺に飛来
 飯泉仁・飯泉久美子
- 9.28 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (1) 上空を
 飛ぶ 船津登
- 9.28 [片山(手賀の丘公園)] サバ` (1) 上空
 を飛ぶ 船津登
- 9.28 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(1)
 船津登
- 9.28 [片山(手賀の丘公園)] イヅビ`舛(2) 桜
 の木に止まる 船津登
- 10.01 [下沼田] ヲウゲ`ソウ(1) 農道の電線
 にとまり羽繕い 鈴木静治
- 10.01 [片山新田] ヒ` (1) 農道の電柱にと
 まる 鈴木静治
- 10.01 [岡発戸新田] ハシ`カモ(5) 群れて
 泳ぐ(初認) 鈴木静治
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (1) 上空
 を飛ぶ 船津登
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(7)
 船津登
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] 牝`舛(1) シ
 ジ`ユウカの群の近くで動く 船津登
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] コサヒ`舛(1)
 木に止まる 船津登
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] サコウ`チヨウ(1)
 シ`ユウカの群の近くで杉の木に止まる
 船津登
- 10.02 [片山(手賀の丘公園)] センダ`イシキ
 (1) シ`ユウカの群の近くで動く 船津登
- 10.03 [千間橋] ハヤ`サ(1) 田の上空を飛ぶ
 鈴木静治
- 10.03 [片山(手賀の丘公園)] 牝`舛(1) 杉
 の小枝に止まり、さえずる 船津登
- 10.03 [片山(手賀の丘公園)] 牝`舛(1) 小
 枝に止まる 船津登
- 10.03 [片山(手賀の丘公園)] サコウ`チヨウ(1)
 杉の木の中で動く 船津登
- 10.03 [片山(手賀の丘公園)] ツト`リ(1) 桜
 の木に止まる 船津登
- 10.06 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)]
 ヒ` (1) 鳴きながら飛翔 桑森亮
- 10.07 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)]
 材カ(1) 岡発戸の森上空でカスにヒ`ソウ`
 を受け沼を越えて沼南の森へ去る 桑森亮
- 10.09 [下沼田] ノリ(1) 農道の電線にとま
 る 鈴木静治
- 10.09 [相島] ヲウゲ`ソウ(2) 上空でハシ`ソ
 ガラスにヒ`ソウ`される 鈴木静治
- 10.09 [発作] ヒ` (1) 上空を帆翔する
 鈴木静治
- 10.09 [発作] ノリ(1) ハシ`ソ`ガラス 2羽にヒ`
 ソウ`される 鈴木静治
- 10.09 [布佐平和台] ノリ(1) 住宅上空を飛
 ぶ 鈴木静治
- 10.09 [市民農園沖] ミサコ` (1) 杭の上で羽
 休め 野倉元雄
- 10.10 [手賀沼近辺] ヒ` (1) 上沼 1
 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 10.10 [手賀沼近辺] ハヤ`サ(2) 上沼 2
 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 10.12 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (1) 上空
 で鳴き、飛ぶ 船津登
- 10.12 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(3)
 船津登
- 10.12 [片山(手賀の丘公園)] イヅビ`舛(1)
 桜の木に止まる 船津登
- 10.12 [片山新田] ヒ`舛(4) 畦の草に止ま
 り、時々ワイング`キャッチを行う 船津登
- 10.14 [中峠] ヲウゲ`ソウ(1) 採食(多分バ
 ッタ) 松本勝英
- 10.14 [中峠] ヒ` (3) 飛翔 松本勝英
- 10.16 [下沼田] ヲウゲ`ソウ(1) 電線より飛
 び立つ 鈴木静治
- 10.17 [東中新宿] サバ` (1) 9:17、光ヶ丘中学
 校上空を北北東から西方向に飛翔 飯泉仁
- 10.18 [戸張新田] ミサコ` (1) 11:52、水面の
 杭に止まり魚を食べていた
 飯泉仁・飯泉久美子
- 10.18 [片山] ヤマガ`ラ(1) 14:20、地面で餌を
 食べていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 10.18 [箕輪新田] ヒ` (1) 12:50、カラスに
 追尾され出現 飯泉仁・飯泉久美子

- 10.18 [発作] チョウゲンボウ(1) 上空でハコブシ
ガラスよりヒツク 鈴木静治
- 10.18 [片山新田先手賀沼] オオムシ(1)
14:52、鳴きながら葦原の中を移動(初認)
飯泉仁・飯泉久美子
- 10.18 [戸張新田] ヒドリカモ(7) 12:04、水面
を移動(初認) 飯泉仁・飯泉久美子
- 10.19 [手賀沼遊歩道(上沼田地先)] ヒ
(1) 飛翔 桑森亮
- 10.19 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空
を飛ぶ 船津登
- 10.19 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(6)
船津登
- 10.19 [片山(手賀の丘公園)] センガムシ
(1) 杉の枝で、羽織いをする 船津登
- 10.19 [片山新田] ノリ(1) 電柱に止まる
船津登
- 10.21 [古戸] ノリ(1) 川の上空を飛ぶ
鈴木静治
- 10.21 [古戸] ヒ(1) セイカワダチウの花
の上にとまる 鈴木静治
- 10.21 [古戸] ヒ(1) 草原より芋虫を啜
え道で食べる 鈴木静治
- 10.21 [古戸] ヒ(2) 川の上空を飛ぶ
鈴木静治
- 10.21 [古戸] チョウゲンボウ(1) 田の上でハコ
ブシにヒツクされる 鈴木静治
- 10.21 [江蔵地] ヒ(2) 川の上空を飛ぶ
鈴木静治
- 10.21 [布佐平和台] チョウゲンボウ(2) 鉄塔の
上空でハコブシにヒツクされる
鈴木静治
- 10.23 [宗甫] ショウビ(1) 木の枝にとまり
囀る 鈴木静治
- 10.24 [高野山新田] ミサコ(1) 沼の上空を
飛ぶ 鈴木静治
- 10.24 [根戸新田] ミサコ(1) 沼の上空を飛
ぶ 鈴木静治
- 10.24 [片山新田] ミサコ(1) 沼中の杭にと
まる 鈴木静治
- 10.26 [江蔵地] ノリ(1) 葦原上を飛ぶ
鈴木静治
- 10.26 [中峠] ヒ(1) 河原上を低空で飛ぶ
鈴木静治
- 10.26 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空
を鳴きながら飛ぶ 船津登
- 10.26 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) 枯木
に止まる 船津登
- 10.26 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) ヒ
と共に上空を飛ぶ 船津登
- 10.26 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5)
船津登
- 10.26 [片山新田] ヒ(2) 草の上にとまる
船津登
- 10.26 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)]
ショウビ(1) 遊歩道の樹上で鳴く 桑森亮
- 10.26 [五條谷] ツグミ(1) 公園の桜の木で
鳴く(初認) 船津登
- 10.26 [戸張] ショウビ(1) 電線に止
まり鳴いていた 吉田隆行
- 10.26 [大井新田] ヒカ(1) セイカワダチウに
止まり鳴いていた(初認) 吉田隆行
- 10.27 [手賀沼遊歩道(曙橋)] ミサコ(1) 杭
上で休む 桑森亮
- 10.27 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ヒ
シロカツブシ(5) 水面移動、休む(初認)
桑森亮
- 10.27 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] ア
オ(1) 草叢で地鳴き(初認) 桑森亮
- 10.27 [布佐平和台] ショウビ(1) 電線に
とまり囀る 鈴木静治
- 10.27 [手賀沼遊歩道(曙橋)] スガモ(7)
水面を移動し手賀川に(初認) 桑森亮
- 10.28 [手賀沼遊歩道(高野山新田地先)]
オオムシ(1) 葦原で移動 桑森亮
- 10.28 [五條谷] ショウビ(1) TVアンテナで鳴
く 船津登
- 10.30 [遊歩道若松] ショウビ(1) 羽休め
(TVアンテナにとまって) 野倉元雄
- 10.31 [手賀沼公園] ミサコ(1) 飛翔
中根忠
- 10.31 [東中新宿] ショウビ(1) 9:18、自宅
の隣りのアンテナにとまり鳴いていた
飯泉久美子
- 11.03 [中峠] ヒ(1) ヒとノリの「同心円」
飛翔 松本勝英
- 11.03 [中峠] チョウゲンボウ 松本勝英
- 11.03 [上沼] オムシ(1) 干潟で採餌し
ていた(初認) 吉田隆行
- 11.05 [片山新田] ノリ(1) 田の上空を飛ぶ
鈴木静治
- 11.05 [上沼] ヒ(1) 低空を飛翔
吉田隆行
- 11.05 [岡発戸新田] アリス(1) メタコイアの頂

- きに止まる 鈴木静治・船津登
・池田日出夫・金子雅幸
- 11.05 [岡発戸新田] ヒ¹(1) 斜面林上空を飛ぶ 鈴木静治・船津登
・池田日出夫・金子雅幸
- 11.05 [湖北台] ヤマガラ約 50 道路脇の電線に群れて止まる(初認) 鈴木静治
- 11.05 [上沼] フウ¹(1) 低空を飛翔(初認) 吉田隆行
- 11.05 [上沼] ス¹ガモ(1) 泳いでいた 吉田隆行
- 11.06 [片山(手賀の丘公園)] フウゲ¹ノウ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 11.06 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(2) 船津登
- 11.06 [片山新田] ノリ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 11.07 [手賀沼] ミコ¹(1) 上沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [手賀沼辺] ヒ¹(1) 下沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [手賀沼辺] フウ¹(1) 下沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [手賀沼辺] ハブサ(2) 上沼 2 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [大井新田(ヒドリ橋)] ハブサ(1) 1 追尾 松本勝英
- 11.07 [大井新田(ヒドリ橋)] ミコ¹(1) 帆翔 松本勝英
- 11.07 [中峠] ヒ²(2) 稲刈り後の水田地帯 上空では、2羽のヒ¹に3羽のオカカ¹が絡んでいました。 松本勝英
- 11.07 [手賀沼] ハジ¹カイツ¹リ(1) 下沼 1 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [手賀沼] ス¹ガモ(10) 下沼 10 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.07 [手賀沼] ヒト¹カモ(13) 上沼 9,下沼 4 桑森亮・船津登・金子雅幸・田中功
- 11.08 [上沼田] ノリ(1) 田圃の散水栓に止まる 桑森亮
- 11.08 [上沼田] ヒ¹(1) 田圃の散水栓に止まる 桑森亮
- 11.09 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) 枯木に止まる 船津登
- 11.10 [下沼田] フウゲ¹ノウ(1) 農道の電柱に止まる 鈴木静治
- 11.10 [布瀬新田] ヒ¹(1) 電柱にとまり、
- カス 2 羽近づくも知らん顔、カスが去る 鈴木静治
- 11.10 [中峠] ヌヅ¹(3) 水路にてヒ¹と採食 松本勝英
- 11.10 [千間橋] 死バ¹リ(13) 二番穂、田起こし田より飛び立つ(初認) 鈴木静治
- 11.11 [中峠] ヒ¹(2) 松本勝英
- 11.11 [中峠] ヌヅ¹(1) 松本勝英
- 11.12 [江蔵地] ノリ(1) 川の上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 11.12 [布佐・新木(利根川川原)] ノリ(1) 飛翔 鈴木静治
- 11.12 [江蔵地] カサ¹カ 約 30 柳の木に群れ、鳴く(初認) 鈴木静治
- 11.13 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] トビ²(2) 飛翔、カスに絡まれる 桑森亮
- 11.13 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] アリ¹(1) 葎原の中に 桑森亮
- 11.13 [岡発戸谷津] カサ¹カ(1) 草叢から飛び立ち木に止まる 桑森亮
- 11.13 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] アリ¹(1) 葎原の中に(初認) 桑森亮
- 11.15 [片山新田先手賀沼] フウゲ¹ノウ(1) 15:03、カスに追尾され出現 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.15 [箕輪新田先手賀沼] ミコ¹(1) 12:43、水面の杭で魚を食べていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.15 [片山新田先手賀沼] ハジ¹カイツ¹リ(7) 13:24、水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.16 [片山(手賀の丘公園)] オカカ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 11.16 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) 枯木に止まる 船津登
- 11.16 [片山(手賀の丘公園)] キイ¹ダキ(1) 杉の木上部で動きまわる 船津登
- 11.16 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(4) 船津登
- 11.16 [大井新田] オア¹(1) セイ¹カワ¹チウ¹に止まり鳴いていた 吉田隆行
- 11.16 [東中新宿] ツ¹ミ(3) 7:10、自宅上空を鳴きながら通過 飯泉久美子
- 11.18 [古戸] ヒ¹(1) 上空を旋回する 鈴木静治
- 11.18 [江蔵地] ノリ(1) 上空でカスにヒ¹ンク¹される 鈴木静治
- 11.18 [江蔵地] ベ¹コ¹シコ(3) 葎原の中で鳴

- く 鈴木静治
 11.18 [江蔵地] ミサゴ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
 11.18 [江蔵地] ヲウゲンボウ(1) 葦原の中で 鈴木静治
 鳴く上空を飛ぶ 鈴木静治
 11.18 [江蔵地] ツグミ(4) 草原に佇む 鈴木静治
 11.20 [片山新田] ヲウバウ(1) 手賀沼の葦原 船津登
 の上を飛び、葦原の中に下りる
 11.20 [戸張新田] ハイタカ(1) 飛翔して餌を 吉田隆行
 探していた

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アマサギ、アリスイ、イソシギ、イソヒヨドリ、ウグイス、エゾビタキ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オジロトウネン、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カケス、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、ククイタダキ、キジ、キジバト、キセキレイ、キビタキ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、クロハラアジサシ、コアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、コチドリ、コブハクチョウ、サシバ、サメビタキ、サンコウチョウ、シジュウカラ、シメ、ジュウイチ、ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツツドリ、ツバメ、トビ、ノスリ、ノビタキ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラ

ス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシゴイ
 計 94 種

<番外種>

アイガモ、アヒル、カワラバト、コジュケイ、バリケン、ボタンインコ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	143
飯泉仁・飯泉久美子	141
飯泉久美子	2
大久保陸夫	2
桑森亮	219
桑森亮・船津登	
・金子雅幸・田中功	78
鈴木静治	232
鈴木静治・船津登・蒲田知子	19
鈴木静治・船津登・	
池田日出夫・金子雅幸	22
中根忠	16
野倉元雄	73
平岡考	6
船津登	142
松田幸保	4
松本勝英	29
吉田隆行	10
総計	1138

(浅井久)

【会員だより】(ab-yacho より)

【中峠が少し賑やかになりました】

2015.10.14 松本勝英

猛暑の夏は、ちょっと寂しかった中峠がちょっと賑やかになっています。

その主役はやはりモズ、ヒヨドリ、オナガです。

今日の午前の散歩では、9時半のキセキレイから始まり、10時直前チョウゲンボウの採食(多分、バツタ)、トビ3羽の飛翔、が見られました。

ほぼ隔日に見られるクサシギには会えませんでした。夕方には、キセキレイとシジュウカラが自宅周辺で慰めてくれました。

【中峠&今日の手賀沼】

2015.10.14 大久保陸夫

松本さんの界限は賑やかなようですね。

今日は天気も良く、鳥博に行く用事があったのでついでに、手賀沼を散歩してみました。結果はモズくらいのもので、その他カモ類が少々と、さっぱりといった感じでした。それに比べて中峠は種類が多くてよいですね。

【9～10月の観察記録】

2015.10.20 桑森亮

- ・9月21日にコガモを初認以来増えており、今日はマガモが初認でした。
- ・10月10日のカウントでは、ホシハジロ、オカヨシガモが観察されており、水鳥は徐々に増えつつあり、JBFの頃には更に増えていることを期待です。
- ・モズの高鳴きが相変わらず多く、ホオジロは地鳴きに変わりましたが、時々囀りも聞こえます。
- ・オオヨシキリの地鳴きは10月10日が最後で、最近では聞こえません。
- ・チュウサギがめっきり少なくなりましたが、昨日5羽(都部谷津)、今日2羽(上沼田)見られました。
- ・ハクセキレイ、セグロセキレイが船・漁網の上や駐車場などで複数羽で鳴き交わして、追いかけたり飛び跳ねたりしているのを良く見かけます。

【10月の観察記録】

2015.10.20 野倉元雄

季節が秋になって、水辺にはオナガガモ、コガモ、セグロカモメが飛来し、陸ではモズ、ヒヨドリが増えたという印象です。エナガとシジュウカラが一塊になって飛び交っている情景もしばしば観察できます。

【冬鳥の到来ですね】

2015.10.20 平岡考

10/17、手賀沼親水広場の高くなった遊歩道の側面の斜面に生えた、単子葉植物(イネ科のようでしたが、カヤツリグサ科もあったかもしれません)の種子の入った穂を、カルガモ10羽ほどとオナガガモ1羽が盛んに嘴でしごくようにして細かい種子を食べていました。遊歩道のあるく人をあまりおそれずにさかんに食べていたのが面白かったです。今日は、出勤途上に我孫子市役所の裏手でシメが鳴きながら飛んでるのに遭遇しました。冬の小鳥の到来ですね。

また今日は職場の部屋の窓からキセキレイ1羽を見ました。キセキレイは繁殖期にも我孫子で記録はなくなるようですが、ご存じのように繁殖期には山間の溪流沿いなどによく見られます。やはり渡りの時期で低地に下りてきたのでしょうか。我孫子全体としてみると、とりたてて珍しいということはないのですが、山階鳥研の周りにかぎると、そんなにちょくちょく観察する鳥ではないです。

【中峠に晩秋の気配！】

2015.10.23 松本勝英

昨日から、今日までの中峠の様子を報告します。

22日午前中：キセキレイ(3)、水路でクサシギ(1)、民家のアンテナにチョウゲンボウ(1)、帰路、水路でカワセミ(1)、シメ(1)、アオサギ(5)

23日午後2時前：コゲラ(鳴き声)、午後4時過ぎ：キセキレイ(2)、シジュウカラ(2)、アトリかジョウビタキ(?2)いずれにしても、今の中峠はモズの”ひとり天下”で、さすがのヒヨドリ、カラスも遠慮気味。ハクセキレイ、スズメが多勢でやっと対抗している様子です。そういえば、ホオジロも地面でか細く鳴いていました。

【ジョウビタキ@我孫子駅前】

2015.10.26 平岡考

冬鳥の情報があちこちから聞こえてきているようです。皆様の場所ではいかがでしょうか？

今朝、我孫子市役所南口でヒッ、ヒッという地鳴きがするので探すと、ロータリーの植え込みにジョウビタキの雌がいました。

私はまだアオジは見聞きしていませんが、そろそろ、今日は冷えるなーなんて朝、道を歩いているとあちこちの生け垣などからツツ、ツツという声が聞こえるのじゃないかと思えます。

【ジョウビタキ@我孫子駅前】

2015.10.26 松田幸保

私も、夕方 ヒッ、ヒッ カッ、カッを聞いたので探したところ、 が住宅への引き込み電線に止まっていました。私への威嚇だったようです！

【ミサゴを追う船】

2015.11.02 松田幸保

私が所属している鳥博友の会の JBF イベント会場は、鳥凧揚げのために手賀沼公園芝生広場になっております。ここはミサゴのよい観察ポイントなので、今年は2日間とも午前中に魚を食べる光景がみられました。沼の真ん中を飛ばすエンジン付きのボートがあったので、何かの調査かと思ったら、ミサゴを追うカメラマンの船と分かりました。ミサゴが逃げるとまた追いかけていました。

今年はミサゴにとっては落ち着かない2日間だったようです。

【中峠の“文化の日”】

2015.11.03 松本勝英

午前10時半、トビとノスリの「同心円」飛翔を見ました。まもなく、メガネ状に分かれてしまいましたが、青空に映えていました。

セグロセキレイやモズ、エナガを見ましたが、アオジやジョウビタキは声だけでした。夕方4時過ぎには、チョウゲンボウが慰めてくれました。

JBFの取り纏めなどの「文化の日」でしたが、充実した一日でした。

【ハクガンの幼鳥】

2015.11.05 中西榮子

新聞でも報道されておりますので、ご存知の方も多いかもかもしれませんが、荒川河川敷にハクガンが3羽飛来しております。3羽とも幼鳥で、人を恐れず草を採食しながら、どんどん近づいて参ります。

東京湾周辺では、1957年12月～翌年3月まで越冬して以来、58年ぶりとのことでした。

【中峠にタゲリ飛来、イソヒヨドリ初認】

2015.11.07 松本勝英

今朝、自宅近くの水路でキセキレイ（再来）の吉兆がありました。

今日は、他の所属団体のイベントで”ヒドリ橋”に行きました。ハヤブサのハト追尾や、ミサゴの帆翔、中洲沖に10羽程のオカヨシガモにも恵まれました。

帰宅後、降雨予想でしたので、早めの「愛犬夕方散歩」の折、タゲリ3羽初認しました。続いて、いつもクサシギを見る水路（壁）に、なんとイソヒヨドリを1羽認めました。

中峠地区で、私は初めて見ました。

稲刈り後の水田地帯上空では、2羽のトビに3羽のオオタカかハイタカが絡んでいました。朝のキセキレイの吉兆に感謝の一日でした。

【我孫子市中沼田のミヤマガラス】

2015.11.09 鈴木静治

11/5 ビオトープの鳥類調査の帰り11:45頃、ふれあい道路の中沼田の道端の電線に止まる嘴の白いミヤマガラス50羽位の群れに出会いました。そろそろ渡ってくる頃かなと思って矢先でした。コクマルガラスは入っていないようでした。各地の田でも見られる可能性がありますので、カラスの群れが田で群がっていましたらよく観察してください。運が良ければ、白色タイプのコクマルガラスが見えるかもしれません。

【ミヤマガラス情報】

2015.11.09 大久保陸夫

鈴木さんのミヤマガラスの情報を聞いて、早朝に我が家の南側の田んぼに行ってみました。情報通り数十羽のミヤマガラスが2番穂がでた田んぼで餌を食べていました。

このうち十数羽が電線に留まってくれ、その中に2羽の黒色型のコクマルガラスを確認できました。白色型は見当たりません。

多分、群れが200羽～300羽位になれば白色型も？これからが楽しみです。

【中峠のシメ初認ほか】

2015.11.10 松本勝英

今日も、キセキレイは吉兆でした。小雨も止んだ9時過ぎ、朝の散歩に出ました。

いつもの水路でキセキレイ(2)に出会い、期待して進むと間もなく前方の林のトップ近くにずんぐりしたシメを見つけました。顎にかけての黒い部分が真正面に見えました。

今期初認です。ジョウビタキ()は、声だけでまだ姿を見せてくれません。

【ハシブトガラスの貯食行動】

2015.11.11 松田幸保

岡発戸・都部の谷津田を歩いている時に、ハシブトガラスが白い丸いものを啜って目の前の木に止まりました。以前、鶏卵を銜えているカラスを見たことがあるので、最初は鶏卵かと思いました。双眼鏡で見ると球形なのでゴルフボールだと思ったところ、地上に降りてつづいた後、枯れ草をかぶせて飛び去りました。近寄って調べたところ、ミニおにぎりでした。また戻って来ることを期待して離れて待ちましたが、戻って来ないのであきらめました。

会からのお知らせ

<新入会員紹介> 安藤 芳史、徳重 玲子 (柏市在住)
石塚 喜久夫 (流山市在住)
多葉田 五男 (市原市在住)
邱 慶耀、林 海燕 (台湾)
松村 洋子、森本 宣久 (我孫子市在住)

<ご寄附> 台湾の林さんとの夕食懇親会(有志)よりご寄付を頂きました。
厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No. 248 (2016年1～2月号)

発行 2016年1月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円 (大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)